

共通教育科目「**实用医療英語**」履修学生アンケート

「实用医療英語」を履修された学生の皆さんに受講した感想についてアンケートを実施しました。履修参加を希望する皆さんにはぜひ参考にさせていただき、学内共通教育への理解を深めるきっかけとしていただければと思います。

アンケート内容

①参加しようと思った理由

- 社会がグローバル化しているなかで、医療の現場でも英語がより必要になると考えたから。(医・2年)
- 海外実務実習に参加するにあたり、英語力を高めようと思ったから。また、講義内容(とくに外部講師へのインタビュー)に魅力を感じたから。(薬・4年)
- 医療英語ということで、どんなことを学べるのか興味があった。前年度、友人が受けて良かったと言っていたから。(看・4年)
- 他学部生と、「医療」という共通の事柄について、英語を通じてさまざまな視点から考え方を知り、自分の視野を広げたいと思ったから。(健・2年)

②受講した感想

- 英語のほかにも日本とは違う文化や宗教を背景に持つ方々と触れ合うことができ、勉強になることが多かった。(医・2年)
- ネイティブの人と話すのはとても緊張した。しかし、現地の看護師やLGBTから自分たちの世代に期待されていることが体感できた。(薬・3年)

- どの回も興味深いもので、英語の授業を楽しみにしていた。先生のフレンドリーさや、発音の良さ、日本英語ではなく現地の英語で、より現場の雰囲気もわかり良かった。(看・4年)
- さまざまな文化や価値観、生活背景を持った方々と実際に話すことができ、今まできちんと考えてこなかった話題についても考えるいい機会だった。(健・2年)

③受講に向けての心構えや後輩へのメッセージ・アドバイス

- 授業は英語が主だが、英語は苦手でも先生方や学生同士でのサポートにより、楽しく受講できる講座だと思う。(医・2年)
- 習志野キャンパスの学生は遠いので履修をためらう人も多いと思いますが、貴重な経験ができるので頑張ってみてください。後悔はしないと思います。(薬・4年)
- 違う文化の方が授業をしてくださるので、その文化の予習をもう少ししておけば有意義な質問ができたと感じたので、ある程度の予習は大切です。でも、英語力の心配はしなくても大丈夫です。私はこの授業を選択して良かったと感じています。(薬・4年)
- 英語に自信がなくても、「知りたい」「伝えたい」という思いがあれば大丈夫です。ぜひ参加してみてください！(健・2年)

